

2024.10.01 町田市政と議会の動向：学校給食無償化の方向と町田市

町田市は、「子育て支援策の一環として多子世帯（満18歳未満の児童を3人以上扶養している世帯）の負担を減らすため、町田市立小・中学校に通う第2子以降の児童・生徒の学校給食費が無償となります。」としています。ただし、近隣の東京都内自治体の半数以上の自治体は全員を公費負担とする政策転換を図っており、日々無償化施策が拡大しています。



その違いは、町田市のような基礎自治体の予算の中にその負担分を盛り込むか、それとも国がやらない分はあくまで自己負担でやってもらうかという選択にあるのですが、以前のように、自治体は幼児世代の無償化をしていれば済むと言う時代から、青少年時代まで学校給食は公費負担でまかない、昼食を等しく取れる条件と温かい給食を提供する課題が一体化したと言えましょう。



今後、町田市は全域で中学校給食をセンター方式導入で全面実施しますが、その給食費も含めて、公費負担に切り替え、本人負担なしに切り替える方針転換が差し迫る課題になるでしょう。その方針転換は予算を必要とすることですが、町田市が他の一般事業を縮小すること、あるいは市の新規事業を取りやめることで賄うほかないと考えています。